

留学生と日本人学生がともに学ぶ

「多文化交流科目」を考える 2016

—教え方を学ぶ—

北海道大学では、2013年度より、留学生と日本人学生がともに日本語で学ぶ「多文化交流科目」を創設し、全学教育科目・一般教育演習として提供しています。今年度も、同様の実践をされている方々、このような取り組みに興味・関心をお持ちの方々と意見交換の場を持てればと思います。一日目は、益川弘如先生（静岡大学）に、ジグソー法を事例にアクティブラーニングの手法について、ご講義・ワークショップをしていただきます。また、二日目は、実際の授業実践についてお話しいただき、広く議論できればと思います。みなさまのご参加を、お待ちしております！

日時：2017年2月18日（土）・19日（日）

場所：北海道大学国際連携機構2階 大講義室209

（最寄駅：地下鉄南北線 北12条駅）

【スケジュール（予定）】

2月18日（土）13:00（受付開始）～17:00

13:30～17:00 講演・ワークショップ

「学習科学の視点からアクティブラーニングの未来を考える
～知識構成型ジグソー法を事例として～」

講師・ファシリテーター 益川弘如（静岡大学）

17:30～懇親会（学内レストラン）

2月19日（日）9:00（受付開始）～13:00

9:30～10:30 実践報告

① 学習プロセスを支える学習者同士の相互作用活動のデザイン

—学習者の知識構成を促進する手法と活動の選択— 島田徳子（武蔵野大学）

② 日韓協定校間におけるオンライン協働活動を中心とした授業づくり

平山花菜絵（北海道大学大学院）

10:30～12:00 グループ討論



※参加無料。どちらか一日だけ、もしくは一部分だけでも参加できます。

【申し込み】 参加を希望される方は、人数把握のため、2月10日（金）までに、下記、小河原もしくは青木まで、ご連絡ください。また、一日目（18日）終了後、学内レストランにて懇親会を予定しています（4000円程度を予定）。希望される方は、参加申し込みとともに、1月31日（火）までに、あわせてご連絡ください。

【お問い合わせ】 国際連携機構国際教育研究センター 小河原義朗（ogawara@oia.hokudai.ac.jp）

もしくは 青木麻衣子（maoki@oia.hokudai.ac.jp）までお願いします。